



episode. 1

2009年12月
30歳だった僕は
大阪府の実家で
引きこもっていた

姉ちゃん？

あんた今
働いてないん
だつて？

何もすることが
ないなら大分に
遊びにおいでよ

この一本の電話が
人生を変えるなんて
その時は考えても
いなかったけど

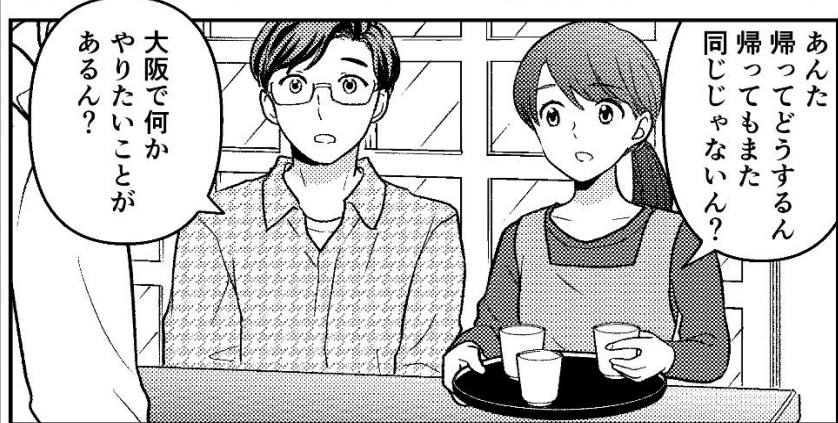
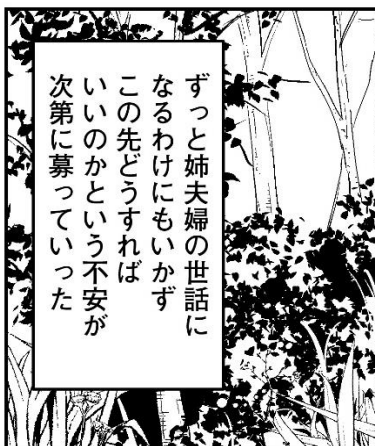
僕は青春18切符と
全財産の1万円を
もって大分行き
の電車に乗った

大分には10回以上
電車を乗り継いで
在来線で2日かけて
向かった

人もまばらで
暗くなった電車の窓に
浮かない顔の自分が
映っていたのを
今も印象的に覚えている

あきたきた

遠かった
やろー！



2010年4月

あんた
前に工務店
いきよったんやろ

近所の
農家さんが
家の修理の
手伝い探し
よんけん

その人
最近由布市に
引っ越してきて
古民家を直し
ながら農業を
してる人なんよ

あんた
行ってみらん?

そうなん
助けになるなら
行ってみようかな

姉に有機農家の
深瀬さんを
紹介された

軽い気持ちで
返事をしたけど

来てくれて
ありがとう!
助かるよ!

家の修理箇所は
予想外に多くて

そのうちに
深瀬さんの家に
住み込んで修理を
することになった

母屋が空いてるけん
よかったら
住み込みで手伝って
くれないかい?

ニヤヒか?

ある日

井田くん
野菜の出荷作業の方が
忙しいけん手を
貸してくれんかい?

はい!

深瀬さんは有機農法
で年間50種ほどの
野菜を作っている

『野菜便』という
直接お客さんに
発送する方法で
野菜を販売していた



新鮮な野菜を
届けられるし
お客さんの声も
直接届くんよ

出荷は大変だけど
やりがいがあるよ



こんな野菜の
売り方があるのか

自分も野菜便を
やってみたいな



ますます
たくて
いい感じだ

よくできたものは
大阪の両親や知人に
送ることにした

奥が深くて面白い



お月ちが
悪いなあ

野菜作りは
思い通りにいかず
難しいこともあるけど



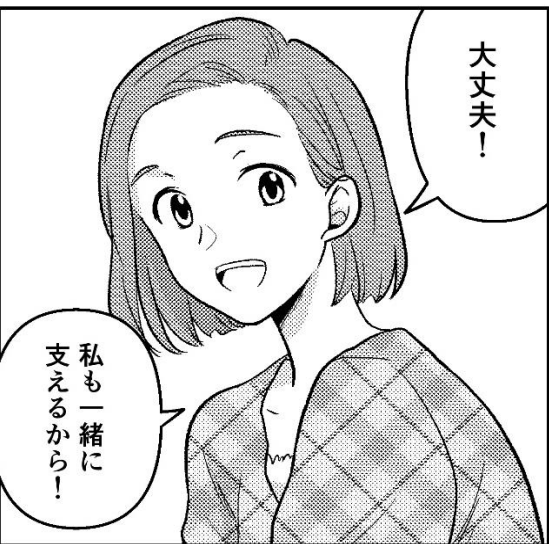
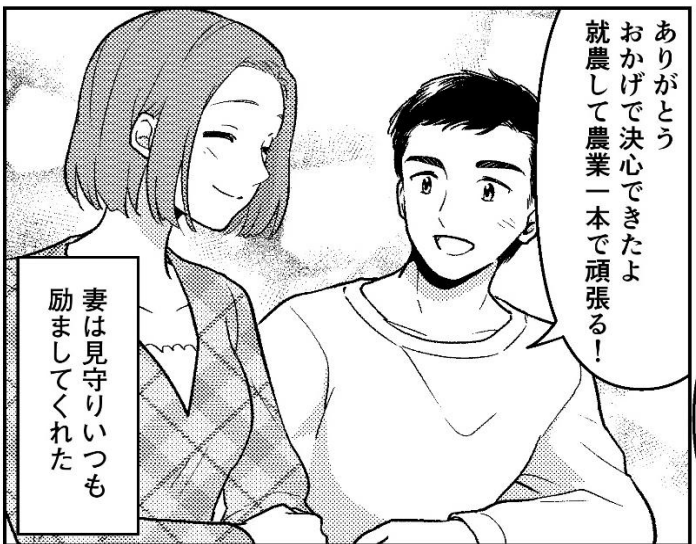
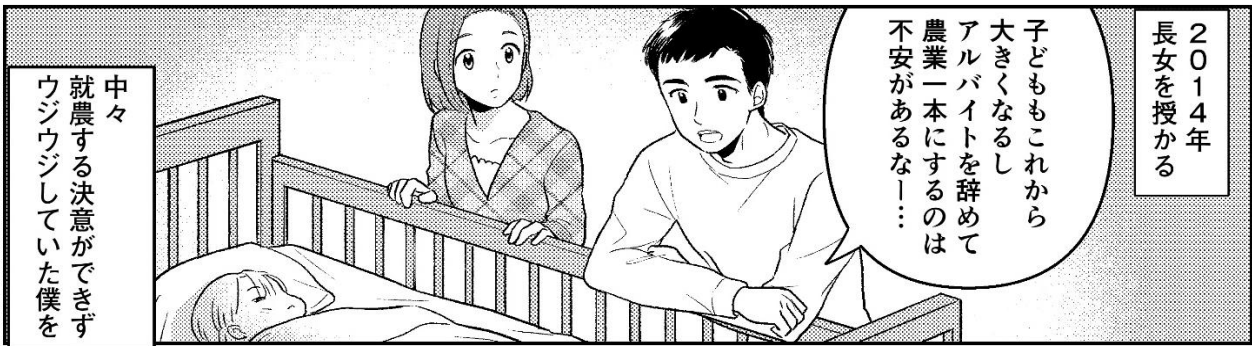
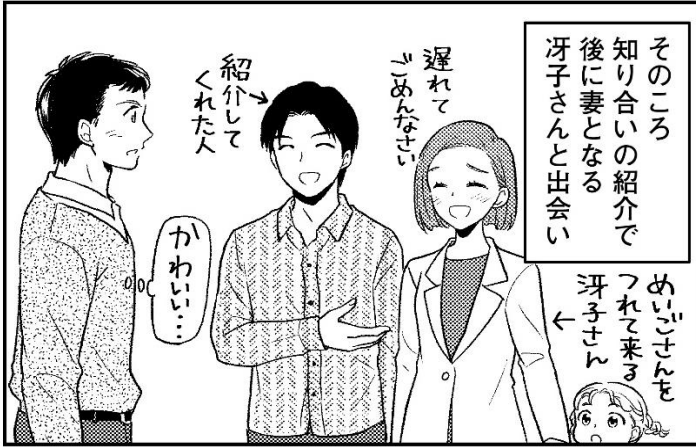
さっそく姉の家の庭と
深瀬さんの使っていない畑を
借りて野菜作りを初めてみた



心配してたけど
安心したよ
野菜美味しかった
ありがとう

大分で野菜
作ってるんだね
新鮮で美味しかった
ありがとうー
頑張ってるね!

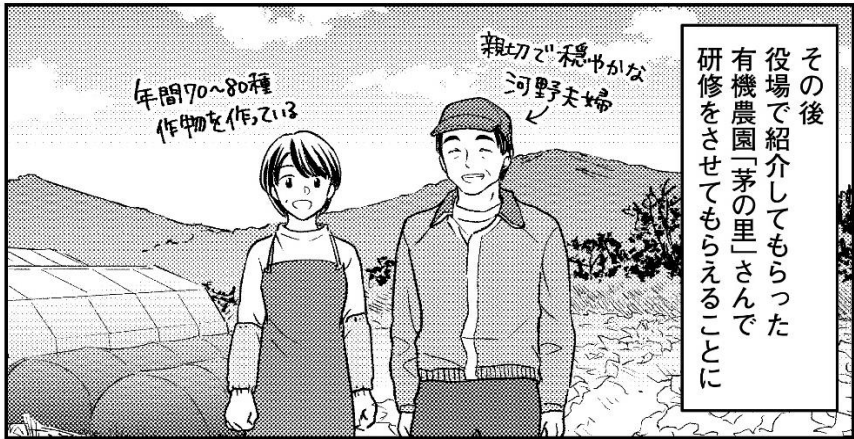
大げさかもしれないけど
生まれて初めて
人に喜ばれることを
したような気がした





苗作りから
栽培管理
農機具の使い方
収穫、出荷に至るまで

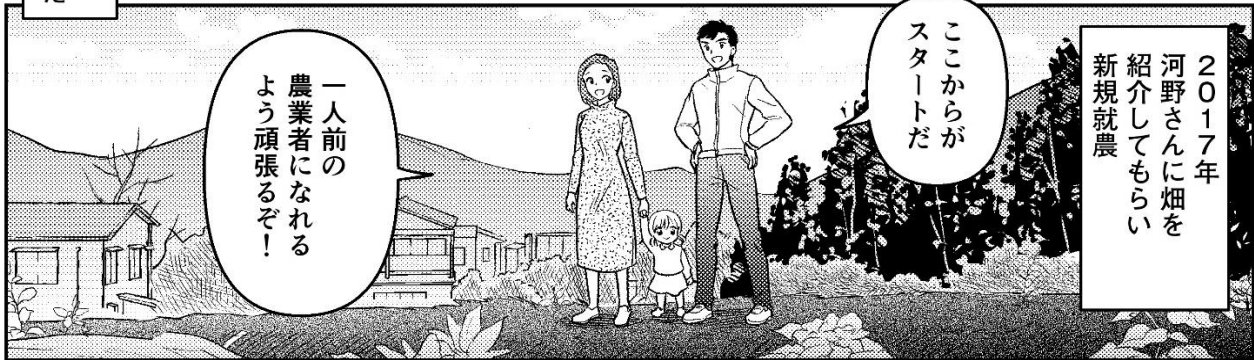
一年間みっちり
農業の基礎を教わった



年間70~80種
作物を作っている

親切で穏やかな
河野夫婦

その後
役場で紹介してもらった
有機農園「茅の里」さんで
研修をさせてもらえることに



一人前の
農業者になれる
よう頑張るぞ!

ここからが
スタートだ

2017年
河野さんに畑を
紹介してもらい
新規就農



2019年には
わくわく農業会議の
会長に就任

頼りがいのある
メンバーに支えられて
イベントに
おいしい野菜作りにと
日々奮闘している

僕の人生を変えたのは
農業との出会いが
始まりでした

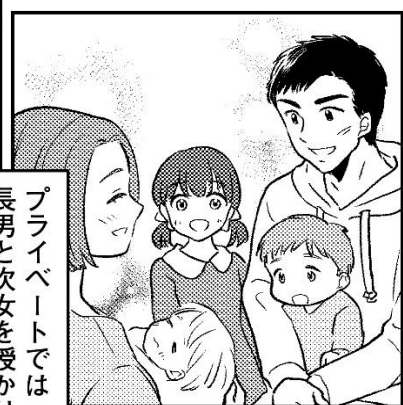
僕たちと一緒に
農業しませんか?



それぞれに
夢を持った
濃いメンバー

もちつき
しよえ!

同じころ
20代~30代の若手農家が
集まって作っている
「わくわく農業会議」に
参加することになった



プライベートでは
長男と次女を授かり
家族が増えた

由布市わくわく農業会議

令和3年3月